



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月6日

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所 福
 コード番号 5953 URL http://www.showa.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 福田俊仁
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 経理部長(氏名) 一木和弘 (TEL) 092-651-2933
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日~平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	1,924	△7.4	△219	—	△197	—	△202	—
27年3月期第1四半期	2,078	△6.1	△255	—	△242	—	△224	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △135百万円(—%) 27年3月期第1四半期 △84百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△24.86	—
27年3月期第1四半期	△26.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	14,824	3,694	24.9
27年3月期	15,197	3,871	25.5

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 3,694百万円 27年3月期 3,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日~平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	1.2	△200	—	△190	—	△200	—	△24.54
通期	11,500	2.7	200	—	220	996.0	70	△27.8	8.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期1Q	8,970,000株	27年3月期	8,970,000株
② 期末自己株式数	28年3月期1Q	819,167株	27年3月期	818,717株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期1Q	8,151,009株	27年3月期1Q	8,432,077株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀による経済政策等を背景とした企業収益の向上や雇用情勢の回復などにより緩やかな景気回復基調が続いています。一方で、ギリシャのデフォルト問題や中国をはじめとする新興国経済の下振れリスクといった海外要因により、依然として先行き不透明な状況が続いています。

このような情勢の中で当社グループは、経営体制の変更を行い、新規事業進出を一時中断するとともに、新たに「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する」を掲げ、平成31年度までに連結売上高120億円以上、安定的に連結売上高営業利益率3%以上を実現するため、「事業の選択と集中」「差別化新製品の開発」「固定費の最小化」に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、19億2千4百万円（前年同期比7.4%減）となりました。

損益面につきましては、営業損失2億1千9百万円（前年同期は営業損失2億5千5百万円）、経常損失1億9千7百万円（前年同期は経常損失2億4千2百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億2千4百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

・機器装置事業

機器装置事業につきましては、熱源機器のボイラー・ヒーターの売上は横這いでしたが、業務用エコキュートは売上減により低調に推移しました。空調機器のファンコイルユニットやエアハンドリングユニットは売上が増加し、また環境機器も電気ヒーターを中心に順調に推移しました。サーモデバイス機器は、液晶用加熱炉の売上は順調でしたが、自動車向け加熱炉は出荷が下期に集中するため低調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は12億4千万円（前年同期比10.2%減）となりました。

・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、景観製品は橋梁用防護柵の売上増により順調に推移しましたが、鋳造品はガスタービン関連部品の出荷遅れ等により低調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は2億6千6百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、有料サービス及びリニューアル工事は堅調でしたが、設備工事はやや低調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は4億1千7百万円（前年同期比1.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債・純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億7千2百万円減少し、148億2千4百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が2億6千8百万円、たな卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料）が4億2千1百万円増加した一方、売上債権（受取手形及び売掛金、電子記録債権）が9億8千4百万円減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ1億9千6百万円減少し、111億2千9百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が2億6百万円減少したことによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ1億7千6百万円減少し、36億9千4百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金が5千8百万円増加した一方、利益剰余金が2億4千3百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成27年5月13日公表時から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,506	2,775
受取手形及び売掛金	3,495	2,526
電子記録債権	211	196
有価証券	600	601
商品及び製品	194	277
仕掛品	692	989
原材料	326	367
その他	99	177
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	8,124	7,908
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,581	1,581
その他(純額)	991	989
有形固定資産合計	2,572	2,570
無形固定資産	41	39
投資その他の資産		
投資有価証券	3,854	3,741
その他	631	590
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	4,459	4,305
固定資産合計	7,073	6,915
資産合計	15,197	14,824
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,642	2,436
短期借入金	4,420	4,020
未払法人税等	17	11
その他	989	1,009
流動負債合計	8,069	7,478
固定負債		
長期借入金	870	1,260
退職給付に係る負債	1,832	1,815
繰延税金負債	187	213
その他	367	363
固定負債合計	3,256	3,651
負債合計	11,326	11,129

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	605	362
自己株式	△146	△146
株主資本合計	3,325	3,082
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	550	609
為替換算調整勘定	219	214
退職給付に係る調整累計額	△225	△211
その他の包括利益累計額合計	545	612
純資産合計	3,871	3,694
負債純資産合計	15,197	14,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	2,078	1,924
売上原価	1,708	1,597
売上総利益	369	326
販売費及び一般管理費	625	545
営業損失(△)	△255	△219
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	31	24
その他	5	8
営業外収益合計	46	42
営業外費用		
支払利息	19	18
持分法による投資損失	8	—
その他	5	2
営業外費用合計	34	21
経常損失(△)	△242	△197
特別利益		
固定資産売却益	22	—
特別利益合計	22	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△220	△197
法人税、住民税及び事業税	4	4
法人税等合計	4	4
四半期純損失(△)	△224	△202
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△224	△202

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△224	△202
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	155	58
退職給付に係る調整額	15	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△31	△5
その他の包括利益合計	139	66
四半期包括利益	△84	△135
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△84	△135
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,381	274	422	2,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	1	43	47
計	1,384	275	466	2,126
セグメント損失(△)	△148	△75	△31	△255

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△255
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△255

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	1,240	266	417	1,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	4	13	22
計	1,244	270	431	1,946
セグメント損失(△)	△145	△53	△19	△219

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△219
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△219

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。